

《最近の県内経済》 (2024年9月を中心として)

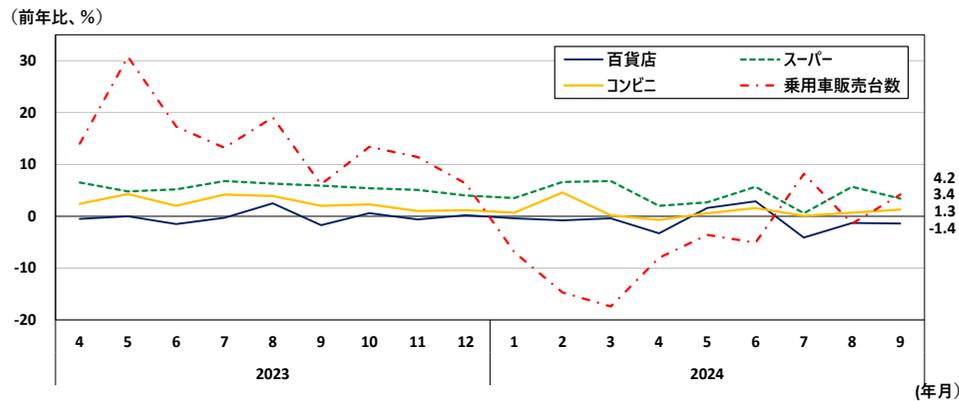
今月の概要

緩やかに持ち直している。



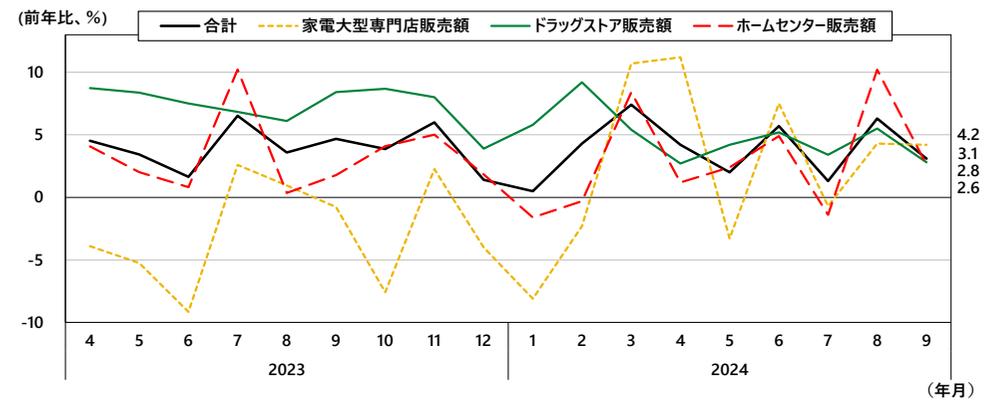
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している 前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

9月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は108億円で前年比1.4%減(3か月連続の減少)、スーパーは1,055億円で同3.4%増(24か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は568億円で同1.3%増(5か月連続の増加)となった。スーパー、コンビニでは記録的な残暑の影響により、夏物商材が好調だったことに加え、前月に続き米不足報道による米関連商品の需要が増加した。

また、乗用車販売は、前年比4.2%増と2か月ぶりに増加した。内訳をみると、軽乗用車が同1.5%減(3か月ぶりの減少)となったものの、普通車が同5.0%増(3か月連続の増加)、小型車が同12.3%増(2か月ぶりの増加)とそれぞれ増加した。

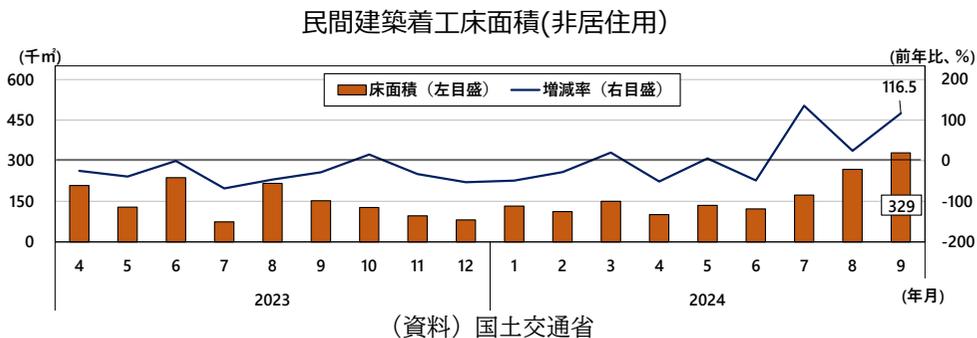
9月の専門量販店販売額は、774億円で前年比3.1%増と25か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が176億円で同4.2%増(2か月連続の増加)、ドラッグストアが423億円で同2.8%増(28か月連続の増加)、ホームセンターが176億円で同2.6%増(2か月連続の増加)となった。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、8月<37.1>、9月<37.4>、10月<36.9>と推移している。

## 2 設備投資 ~持ち直している



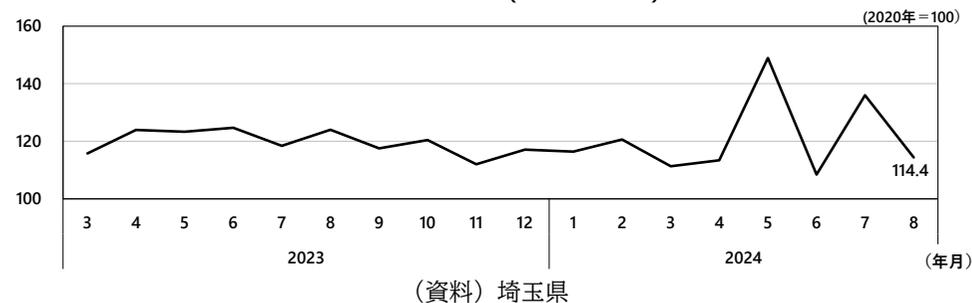
前月比



9月の民間建築着工床面積(非居住用)は、329千㎡で前年比116.5%増と3か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では、前年比27.4%増加)。

用途別にみると、店舗、学校の校舎は減少したものの、事務所、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所はいずれも増加した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



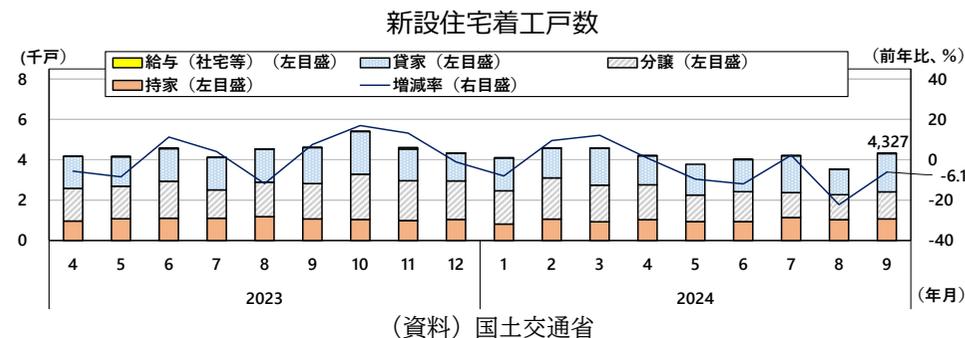
8月の資本財出荷指数(季節調整済)は114.4で、前月比15.9%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均は、前年比0.6%増加)。

当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+25.3%)。

## 3 住宅建設 ~弱含んでいる



前月比

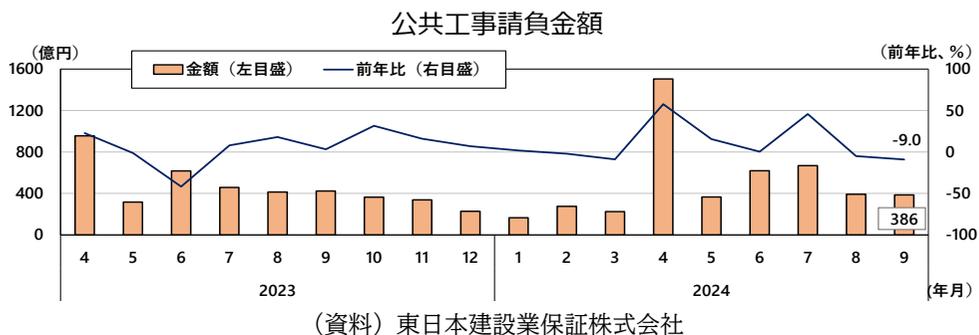


9月の新設住宅着工戸数は、4,327戸で前年比6.1%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では9.7%減)。利用関係別にみると、持家(1,070戸)は前年比0.3%増、貸家(1,894戸)は同6.4%増となったものの、分譲マンション(291戸)は同38.9%減、分譲一戸建て(1,036戸)が同18.01%減とそれぞれ減少した。

## 4 公共工事 ~底堅く推移している



前月比

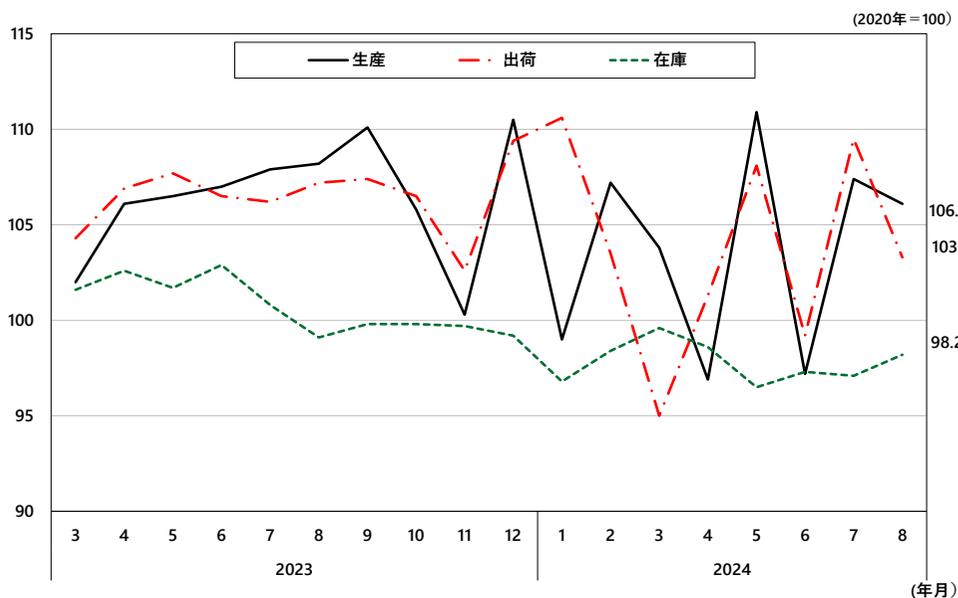


9月の公共工事請負額は386億円、前年比9.0%減となった(2か月連続の減少)。5か月後方移動平均では前年比9.1%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、市区町村は増加したものの、独立行政法人等、都道府県、地方公社は減少した。

## 5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



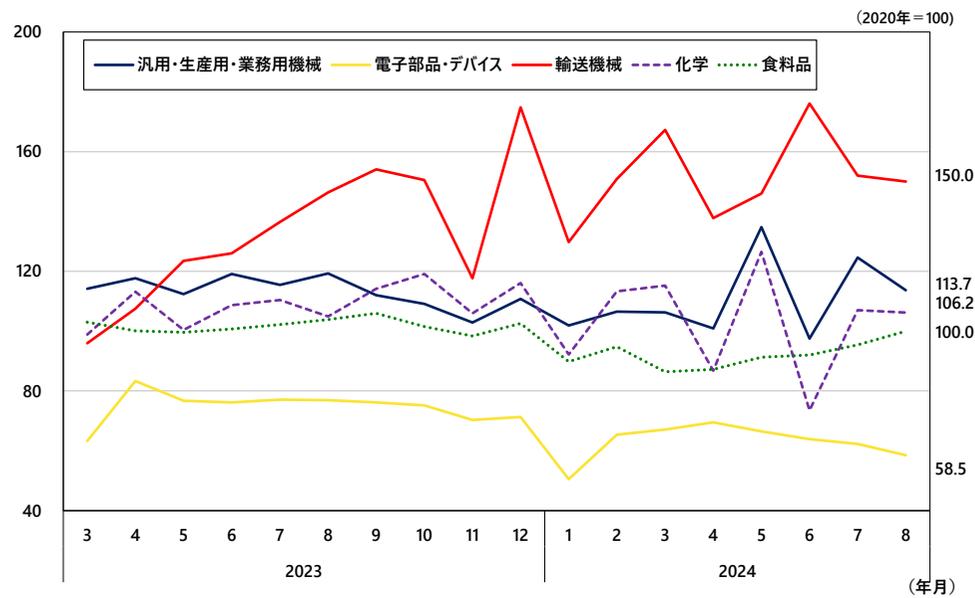
(資料) 埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、106.1で前月比1.2%低下した(2か月ぶりの低下)。食料品(アイスクリーム、氷菓)、プラスチック製品(プラスチック製容器、その他のプラスチック製品)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが低下した。

出荷指数(同)は、103.3で同5.7%低下(2か月ぶりの低下)。情報通信機械(ガス警報器、搬送装置)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、整地機械)などが低下した。

在庫指数(同)は、98.2で同1.1%上昇した(2か月ぶりの上昇)。電気機械(鉛蓄電池、電気計器)、非鉄金属(伸銅製品、電力用電線・ケーブル)などが低下したが、生産用機械(マシニングセンタ、整地機械)、プラスチック製品(プラスチック製容器、その他のプラスチック製品)などが上昇した。

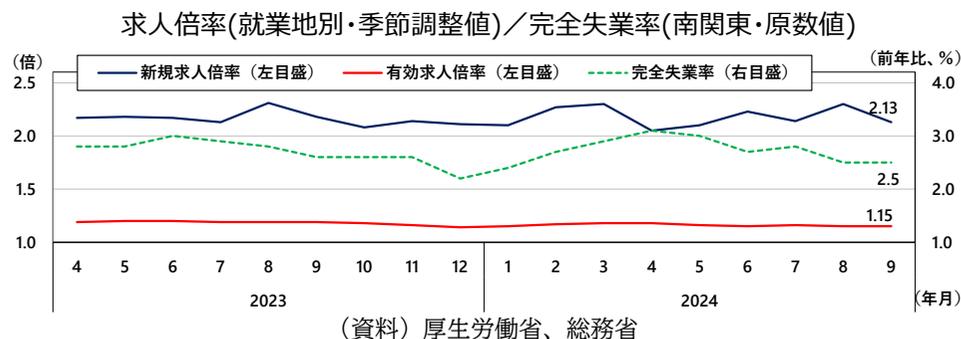
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、113.7で前月比8.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、58.5で同6.1%低下し、4か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、150.0で同1.3%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、106.2で同0.7%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、100.0で同4.8%上昇し、5か月連続の上昇となった。

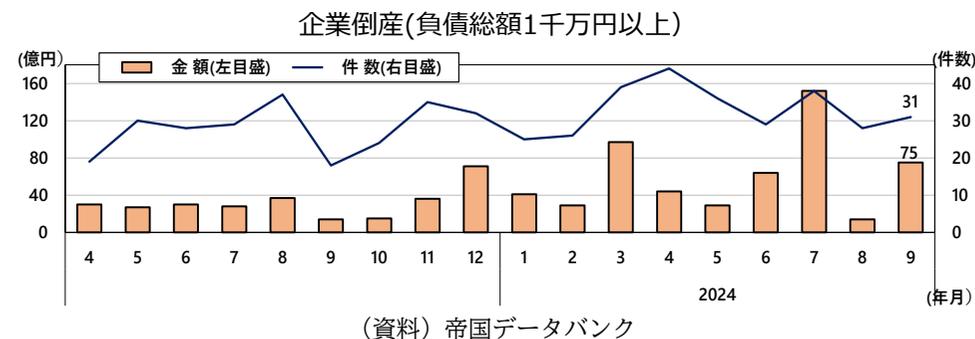
## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ⇒ 前月比



9月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.15倍で前月比横ばい、新規求人倍率(同)は、2.13倍で同比0.17%低下(2か月ぶりの低下)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.1%低下した(前年同月比4か月連続の低下)。

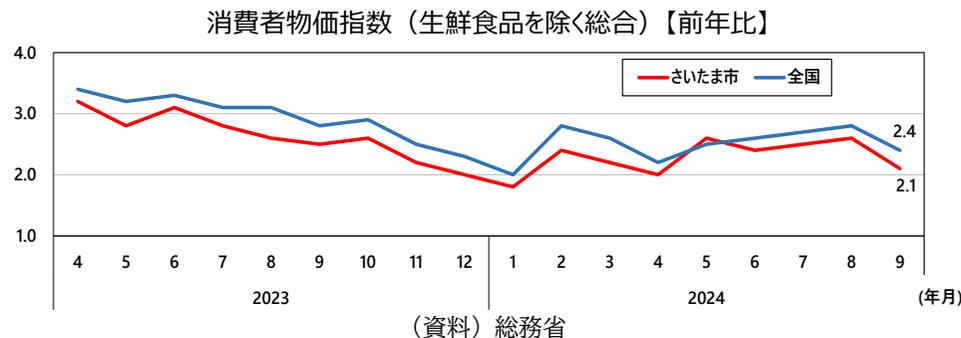
## 7 企業倒産 ~増加傾向にある ⇒ 前月比



9月の企業倒産件数は31件で前年同月比13件の増加となった。また、負債総額は75億円で同61億円の増加となった(5か月移動平均では、件数は前年比4件の増加、負債総額は同40億円の増加)。

業種別にみると、建設業が最多で8件、次いで卸売業、サービス業がそれぞれ7件、小売業が4件となっている。主因別では、販売不振が28件となっている。

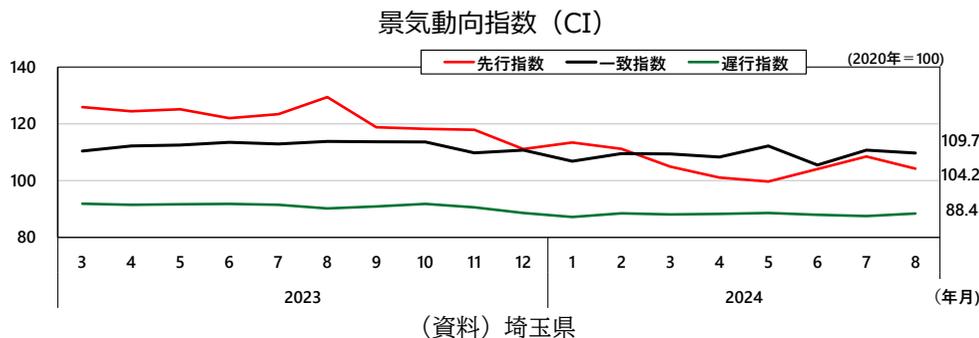
## 8 消費者物価 ~上昇率が高止まりしている ⇒ 前月比



9月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.1で前年同月比2.1%上昇した(36か月連続の前年同月比上昇)。

食料(穀類(うるち米など))、教養娯楽(旅行費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- ・ 8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、109.7で同1.0%下降し、2か月ぶりの下降となった。
- ・ CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、104.2で同4.3%下降し、3か月ぶりの下降となった。
- ・ CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、88.4で同0.9%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。